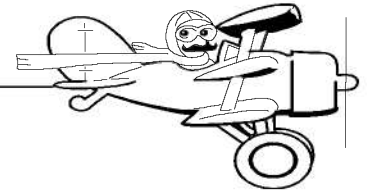


今回のテーマ

がん治療について②



今回は前回に続きがん治療についてお伝えいたします。
がんの治療も現在多くあり、治療方法も年々変化しております。

がん治療は大きく分けて3つになります。

1. 手術療法

メスなどを用いてがんを取り除きます。

腹部や胸部などを切り開いて行うのが一般的ですが、病状によっては、内視鏡や腹腔鏡を用いた体への負担が少ない手術も行われるようになりました。

2. 放射線治療

がん放射線を照射する治療法です。

がん細胞内の遺伝子にダメージを与え、がんを死滅させたり小さくしたりします。照射部位の皮膚や消化器に副作用が出ることがありますが、一般的に手術と比較して体への負担が小さい治療法です。

3. 化学療法(抗がん剤治療)

注射や点滴、または飲み薬で治療します。

化学物質(抗がん剤)を用いて行う治療法です。薬剤が血液から全身に回るため、全身に対して効果が期待できます。化学療法は強い副作用がでることもありますが、最近では副作用の少ない薬剤の開発が進んでいます。

4. その他

新しい治療法も次々と登場しております。

乳がんや前立腺がんの再発を予防するホルモン治療、前立腺がんのワクチン治療など、新たな治療法も次々と登場しております。研究段階の治療法も多く、健康保険が適用されないものもあります。

現在は複数の療法を組み合わせるケースが増えています。

**がんは治せる病気になりつつあります。
治療内容を知り、治療に備えることが大切です。**

今回はがん治療方法についてみてみました。日に日に変化するがん治療に現在の保険の内容があるのかご確認いただけたら幸いです。治療方法により保険の対象になるもの、ならないものがありますので、内容等詳細については、具体的な相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。